

**事業者向け 令和5年度 放課後等デイサービス
自己評価表**

公表：令和6年3月29日

職員数 6 回答数 6

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	事業所としての対応
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6				
	②	職員の配置数は適切であるか	5	1			配置基準以上の配置。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1		どこが適切ではないと感じるのか意見を出し合い改善していく。	
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	5	1		職員一人一人の意見を出しやすい会議運営や共有の場をさらに工夫していく。	新しい個別支援計画の際は、個別支援計画会議の他に決定事項及び変更点を共有する時間を設けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2		（無回答1） 保護者の意向、業務改善については令和5年度保護者アンケートの結果を職員間で共有し、業務改善に繋げていく。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2	3	1	（無回答1） アンケート結果の職員間の周知に努める。	令和4年度アンケート結果は当事業所玄関に掲示している。 令和5年度アンケート結果はホームページにも掲載予定。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	3	今後実施していくことも検討していく。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1			それぞれの役職、委員会において研修参加の機会を作っている。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			より児童自身の目標、ありたい姿を引き出し、日々過ごすことができるよう取り組んでいく。	最低でも半年に一度、また保護者や児童の困りごとやお悩みに合わせて面談を持ち、アセスメントを行っている。本年度からは高学年の児童は自身と職員とで個別計画の作成に取り組んでいる。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2			契約時にフェイスシート等の状況判断できるものを保護者に記入いただき、アセスメントツールとしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6				日々の活動、月案等職員全員でアイデアを出し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6				その日の児童の状態、特性に合わせて、臨機応変にプログラムを組んでいる。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6				同上
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				集団の活動プログラムとは別に、必要に応じて個別支援や個別に職員と話す時間を設けている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6				毎日、全職員で打ち合わせ、流れの確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6				当日のうちに改善点を見出し、次回に活かせるよう配慮している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			児童の状況に合わせ、必要であれば、短期間でも見直しを行っていく。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1		活動の振り返りを行いながら継続していく。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				担当者、児発管で参画。必要時は事業所側から開催要求をしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6				送迎時情報共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	2		必要な際は事業所と主治医との連絡体制をとっていく。	主治医からの医療的ケアの依頼内容の提出をいただき、看護師が保護者からの伝達をもとに行っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	3		令和6年度進入児に対しては情報共有を園と行う予定。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	1	現在対象児童がいないが、今後は必要となるケースがあると思われる。そのようなケースがあれば積極的に情報を提供したい。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		（無回答1）研修参加の機会を設けている。	必要な児童においては児童相談所、区の担当者や情報交換を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	1		地域の公園や児童館に出かけることが多く、そこで関わることもあるため、職員が見守り、支援している。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		4	2	来年度は子ども部会の参加を検討したい。	

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				面談やお電話、メール相談対応を随時行っているほか、送迎の際にお話する時間を設けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1		より良い方法、ニーズを捉え、模索していく。	同上
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			より分かりやすく丁寧な説明を意識する。	
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				保護者の要望に応じて個別面談を随時実施している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	2	今年度は開催できなかった。ニーズに応じながら、開催を計画していく。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			児発管、管理者に報告、迅速に対応していく。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			事業所の携帯電話を準備し、保護者との連絡を密に取れるようにした。	活動予定表を月に1回、保護者宛プリントを不定期に発行している。その他活動内容や連絡事項はSNSで発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			職員間で徹底して意識していく。	SNS発信時に情報流出にならないよう二重チェックで防いでいく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				視覚的支援を含め、伝わりやすい方法を日々検討し、支援を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	3	地域での働きとして何ができるか活動に積極的に取り組んでいく。	自治会の役割を担い、地域とのコミュニケーションを図っている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			契約時に保護者にも周知していく。	防災訓練時等職員間での情報の共有を行っている。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6				令和5年度は定期的に実施。来年度も継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			令和6年度は全職員に向けアンケートを定期的に行い、意識づけを行っていく予定。	担当職員には研修を実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1			「運営規程」に身体拘束の禁止を謳い、個別支援計画にもその旨を記して保護者に説明し、了解を得ている。

④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	1	今後必要な児童がいれば対応していく。	契約時に保護者にうかがっている。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6				今年度より事例集の作成をしている。共有を行い、対策を出し取り組んでいる。

